

## 1

### ストーマ装具の固定に使うテープの、“特性”を知る

テープの特徴は、**粘着剤**と**基材**と**カタチ**の3つの組み合わせで決まるため、これらの代表的な**種類**と**特性**を知れば、製品の特長がわかるようになります。

#### 粘着剤

アクリル系	医療用のテープで最も一般的。 貼ってすぐの貼りつきは弱いが、体温によって徐々に粘着力が上がる。 角質剥離が少ないゲルタイプもある。
ゴム系	原料は天然ゴムまたは合成ゴム。 天然ゴムの場合はラテックスアレルギーに注意。 貼ってすぐに、しっかり貼りつく。
シリコーン系	やさしくはがれ、角質剥離が少ない。 粘着力は低めだが、肌に貼っている間の粘着力は一定。 高価な場合が多い。
ハイドロコロイド系	粘着剤と吸水成分の混合物。 吸水性能があり、面板と同じ皮膚保護剤だから安心。

#### 基材

紙	手で切れるので、高齢の方でも扱いやすい。 ドラッグストアで販売されるテープによく使用される。 安価なものが多い。
布	厚みがあるものが多く、保持力が強い。 伸縮性と非伸縮性の2タイプあり、使い分けが必要。
不織布	紙や布よりやわらかい。 手で切れるタイプや、撥水加工が施されたタイプもある。
ポリウレタンフィルム	7μm～30μm程度と非常に薄いため、伸縮性が高く、肌に追従する。 水は通さないが水蒸気は通すため、防水性は高いがムレにくい。 粘着面の反対側に支持シートがあり、貼り方が特殊。
プラスチック	原料は塩化ビニルやポリエチレンなど。 厚みがあり保持力はあるが、伸縮性はほとんどない。 防水性のあるものが多いが、水蒸気をあまり通さないためムレやすい。

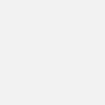
#### カタチ

専用形状のカットタイプ	用途に合わせた形状に事前にカットされていて、扱いやすい。 1ヶ月分など、買いやすい量で包装されていることも。
ロールタイプ	用途や体のサイズなどに合わせて自由にカットできる。 同じ粘着剤・基材であっても、専用形状のカットタイプより安価なことが多い。

## 2

### ひとりひとり、要望や状況に合ったテープを選ぶ

オストメイト・医療従事者の双方の要望や状況に合わせて、粘着剤と基材とカタチから、一覧表を参考に最適な組み合わせを選びます。要望が複数あるときは、特性を掛け合わせたテープを探します。

安心して入浴やシャワーをしたいときに	高い防水性の ポリウレタンフィルム基材	 
	防水性のあるプラスチック基材	
肌が脆弱な人や、肌が荒れているときに	角質剥離が少ないシリコーン系粘着剤	
	ゲルタイプで、肌にやさしいアクリル系粘着剤	 
指先が動きにくい人や、手間を少なくしたいときに	高伸縮で肌に追従する ポリウレタンフィルム基材	 
	そのまますぐに使える 専用形状のカットタイプ	 
装具の外れが心配な人や、大きな動きをするときに	手で切れる紙基材/不織布基材	
	しっかり保持できる プラスチック基材/布基材	
コストを抑えたいときに	体の動きに追従する ポリウレタンフィルム基材	 
	面板と同じ皮膚保護剤でしっかり貼り付く ハイドロコロイド系粘着剤	
安価に入手しやすい紙基材	使いたいサイズに調整でき、専用形状よりお得なロールタイプ	

テープが医療にできること、もっと。

**skinix®**  
www.skinix.jp

株式会社 共和 メディカルグループ

大阪本社:〒557-0051 大阪市西成区橋3-20-28

TEL:06-6658-8217

FAX:06-6658-8101

東京支店:〒135-0016 東京都江東区東陽5-29-16

TEL:03-5634-3843

FAX:03-5634-3845

※テープは、ストーマ装具固定の補助的な道具です。

最適なストーマ装具の選択をおこなったうえで、テープの使用を検討してください。

※テープが必要ないときは、ぜひ肌を休ませてあげてください。